

IOI(IOIB)

パーム油の国際価格が5月以降に反転上昇、コロナ禍に伴う消費者向け衛生製品の需要拡大も追い風へ

マレーシア | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG IOI:MK | REUTERS IOIB.KL

- 2020/6期3Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.6%増、営業利益が同9.3%増。その一方、純利益は為替換算差損失などが響き同99.9%減。
- プランテーション事業における粗パーム油価格やパーム核油価格の前年同期比での上昇が増収および営業増益に寄与した。
- パーム油の国際価格が5月以降に反転上昇したこと、およびコロナ禍に伴う消費者向け衛生製品の需要拡大が業績への追い風となる。

What is the news?

5/27発表の2020/6期3Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.6%増の20.33億MYR、営業利益が同9.3%増の3.16億MYR、純利益が同99.9%減の10万MYR。プランテーション事業において粗パーム油平均価格がトン当たり同37.2%上昇の2,704MYR、パーム核油平均価格が同28.7%上昇の1,688MYRとなったことが増収および営業増益に寄与した。その一方、純利益については、関係会社からの持分法投資利益が同95.7%減の210万MYRとなったほか、外貨建て債務に係る為替換算差損益が前年同期の6,730万MYRから▲2.39億MYRに悪化したことが響き減益となった。

事業別のセグメント利益は以下の通り。①プランテーション事業は、前年同期比24.7%増の1.65億MYR。②資源ベース製造事業は、同39.4%減の1.19億MYR。ただし、デリバティブ金融商品に係る公正評価損失の影響を除いた基礎的セグメント利益では、同82.2%減の3,170万MYRだった。油脂化学製品や精製部門の販売量減少とマージン低下、および30%の持分比率を有する関連会社で特殊油脂を手掛けるバンジ・ローダース・クロックラン社からの持分法投資損失の計上が基礎的セグメント利益を押し下げた。

How do we view this?

プランテーション事業の業績を左右するパーム油の国際価格は、「HORECA」(ホテル、レストラン、ケータリング)からの需要の低下と原油価格急落の影響、および新型コロナウイルス流行に伴う世界的な都市封鎖の影響を受けて2020年初から下落していたが、バイオディーゼル導入義務化を継続するというインドネシアとマレーシア政府の新たな取り組み、コロナ禍に伴う移動制限で労働者の集まりが悪く収穫効率が落ちていること、およびインドのマレーシア産パーム油輸入が5月に再開されたことなどが奏功し、5月以降に上昇基調に転じた。

また、下流工程の資源ベース製造事業における油脂化学製品部門では、新型コロナウイルスの流行により石鹸や手指消毒剤などの消費者向け衛生製品の需要拡大が追い風となってきている。これらが業績への追い風になると考えられよう。2020/6通期市場予想は、売上高が前期比2.5%増の75.67億MYR、当期利益が同15.8%増の7.31億MYRである。

業績推移

※参考レート 1MYR=25.23円

事業年度	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6F	2021/6F
売上高(百万MYR)	7,249	7,414	7,382	7,567	7,981
当期利益(百万MYR)	743	3,060	631	731	864
EPS(MYR)	0.12	0.49	0.10	0.12	0.14
PER(倍)	37.92	9.29	45.50	37.92	32.50
BPS(MYR)	1.19	1.46	1.48	1.52	1.58
PBR(倍)	3.82	3.12	3.07	2.99	2.88
配当(MYR)	0.10	0.09	0.08	0.08	0.09
配当利回り(%)	2.09	1.98	1.76	1.76	1.98

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.08	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	4.55	2020/8/18

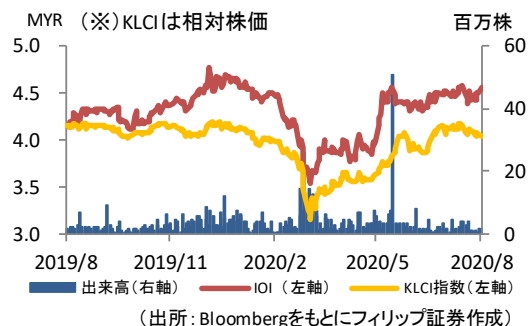
会社概要

1969年にインダストリアル・オキシジェン・インコーポレーテッドとして設立。世界有数の総合パーム油企業で、プランテーションから下流分野までパーム油に係るバリューチェーン全体をカバーしており、プランテーション事業および資源ベース製造事業を営む。

①プランテーション事業では、マレーシアやインドネシアに業界最大級である23万ヘクタール超の農場を有している。実践的な管理手法などから、業界最大のパーム油を算出し、最も効率的な大規模プランテーションを運営している。②資源ベース製造事業は、精製、オレオケミカル、特殊油脂などの下流分野を担う。世界の顧客のニーズ対応のため、マレーシア、オランダ、アメリカ、カナダに製造施設を有している。従業員は25か国以上の国籍で3万人超。加工製品は、世界60か国以上に輸出されている。

企業データ(2020/8/19)

ベータ値	0.97
時価総額(百万MYR)	28,514
企業価値=EV(百万MYR)	31,697
3か月平均売買代金(百万MYR)	3.1



主要株主(2020/8)

	(%)
1.PROGRESSIVE HLDS SDN BHD	48.19
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	12.90
3.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	4.73

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。